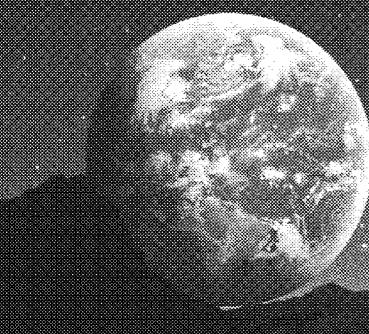


空気・信頼そして未来、見えないものを大切にします。

身近なオフィスから病院や公共施設など社会を支える場所まで。

新日本空調は、独自のエンジニアリングシステムで

より上質な空気をまだ見ぬ未来へと送りつづけます。



環境性能アップは、ビル診断が決め手です。

エネルギーを「見える化」します 改正省エネ法に対応します 省エネ関連助成金の活用を支援します

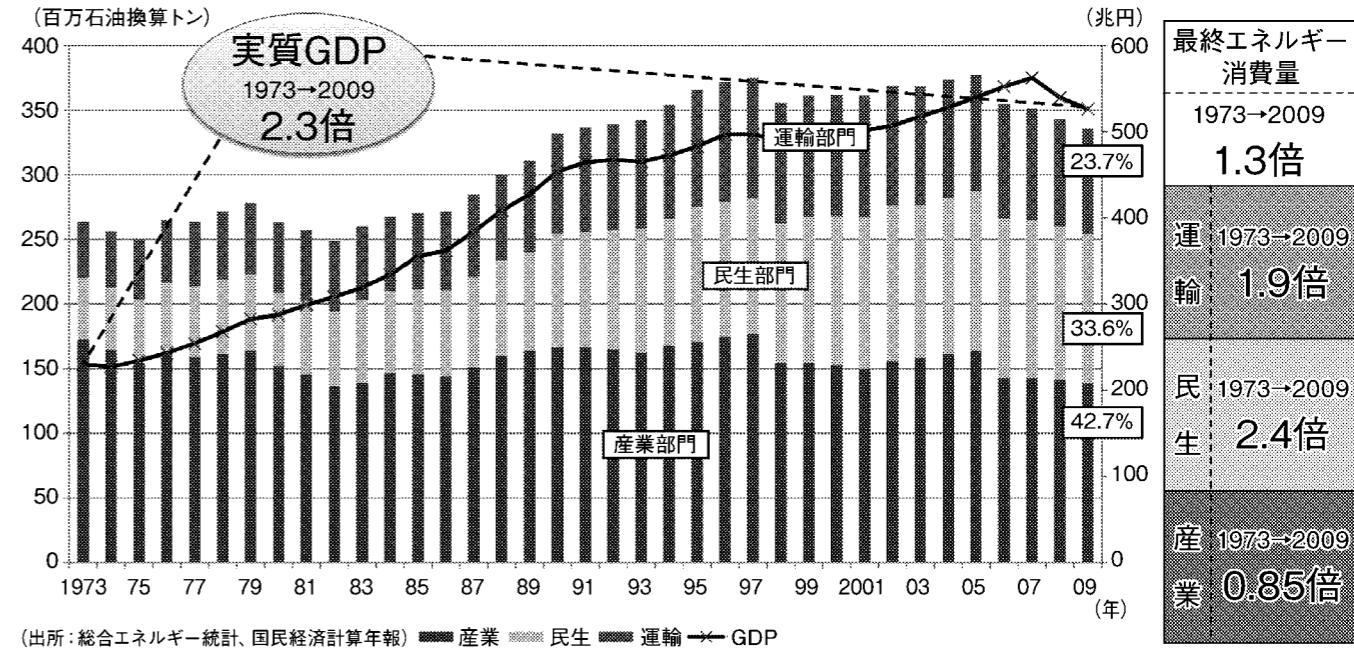
当社が行う設備の更新は、単に経年劣化による能力の低下や老朽化に対処するだけではなく、時代のニーズにこたえるシステムのグレードアップを提供いたします。建物の付加価値を向上させ、省エネルギー・快適環境・地球環境に配慮を行い、人と空間の調和を私たちは総合的にコーディネートいたします。

空間の環境コーディネーター 新日本空調に相談してみませんか?

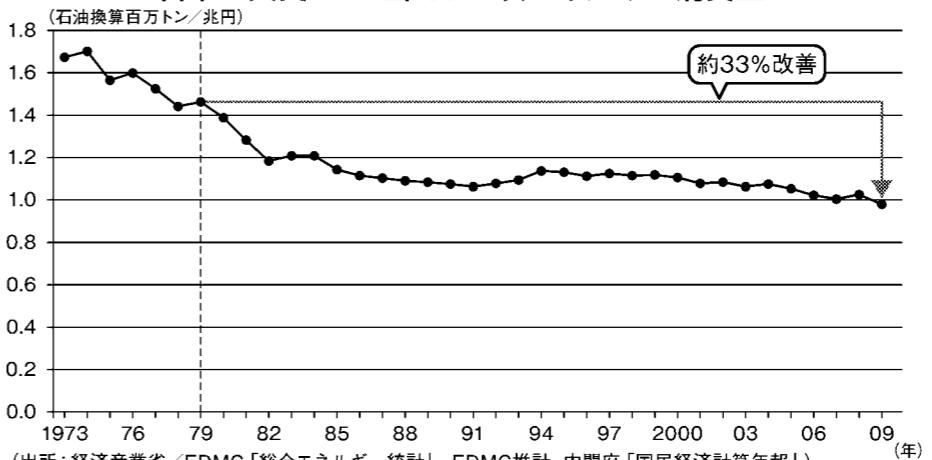
人と空気と環境と  
SNK 新日本空調

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1浜町センタービル Tel:03-3639-2707 Fax:03-3639-2760 http://www.snk.co.jp

### 日本における最終エネルギー消費の推移



### 日本の実質GDP当たり一次エネルギー消費量



が国では省エネなどによるエネルギー使用量の削減が進んでいます。建築物での電力使用や導入設備を見直し改善していかなければならない。

# ビル・建築物の環境対策



日射の方向に合わせオーニングを調整するなど自然を効率的に取り入れる開発が進む

電への意識がより一層深まつた。経産省は総合資源エネルギー調査会省エネルギー政策の展開について検討している。震災一部を開き、今後の工事で、以前から求められていた省エネと、ビルを含む既存ビルの改修について検討している。震災の発生後は、以前から求められていた省エネと、ビルと工場の増加につながる問題も指摘された。こうした時

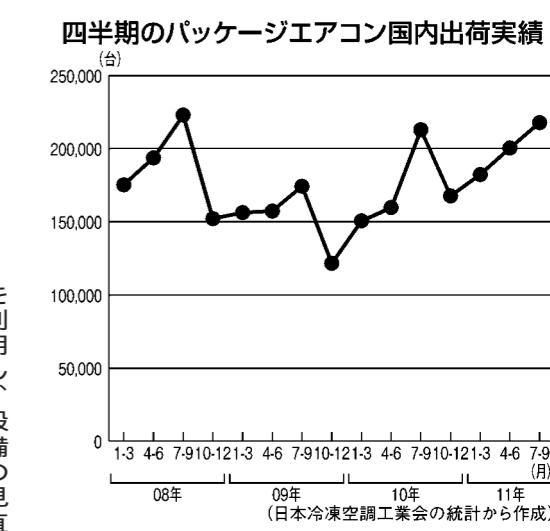
## 省エネ意識高まる

オフィスビルでは空調と照明がエネルギー使用量の約70%を占め、IT機器の普及でコンセントの使用量も増加している。ビルや工場のエネルギーは1割から5割を増したといつては、先が見えなくなっている。「電力供給」のあり方という根本的な部分から見直す動きがあり、政府では検討を進めている。全国的に節電への意識がより一層深まつた。経産省は総合資源エネルギー調査会省エネルギー政策として自家発電の利用がエネルギー消費量の増加につながる問題も指摘された。こうした時

## 節電改修補助金公募は29日まで

経済産業省はアジア諸国を中心に世界のエネルギー需要は2030年まで約1.3倍になると見込まれる。省エネ対策は環境にやさしい取り組みであるとともに、企業の「コスト削減」の有効な手段にもなる。

## 30年に1・3倍へ



## 空気・水・熱で織りなす、低炭素エンジニアリング。

地球を、私たちの命を、その根底から支える「空気」「水」「熱」。朝日工業社は、この3つを核とする独創的な発想と確かなエンジニアリング技術で、省エネルギーへの明るいアンサーを

そして、新たな活力への魅力的なヒントを社会に提供しています。

楽しく考えたい、空気・水・熱のこと

朝日工業社



朝日工業社 〒105-8543 東京都渋谷区1丁目25番地7号 TEL.03-3432-5822 URL: http://www.asahikogyo.co.jp/

時代にまっすぐ、技術にまじめです。

## 4つの視点で建物リニューアルをトータルコーディネートいたします。

日比谷総合設備は、「省エネ」「経済性」「信頼性(BCP)」「快適性」の4つの視点で、建物の設備診断から設計、施工、運用、保守までワンストップサービスで行うトータルエンジニアリング企業です。当社のリニューアルは、空調・衛生・電気・情報の総合力で高い付加価値、高い収益性を実現させます。そして、工事完成後もライフサイクルマネジメントサービスで、お客様と末永くお付き合いをしてまいります。

